

小編成で頑張っています!

中学、高校の吹奏楽部

アンケート 大公開

小編成でコンクールに出場したり、学校のイベント、地域のお祭りなどのイベントに参加している中学校・高校の吹奏楽部の皆さんにアンケートを実施しました。そこには小編成ならではの悩み、また小編成ならではの工夫を皆さんがされていることが分かりました。アンケートにご協力いただいた、吹奏楽部顧問のみなさま、ありがとうございます。「誌面には掲載はできないけど、今後の参考のために送りました」とアンケートを送ってくれた先生もいらっしゃいました。そこで、ここでは誌面掲載可能なアンケートを大公開!ぜひ今後の参考にしてください。

- ① 現在の吹奏楽部の部員数は?
- ② 人数が少なく大変だと感じることは?それを解決するための工夫は?
- ③ 小編成ならではの利点は?
- ④ 新入生に入部を促すために工夫を教えてください!
- ⑤ 近隣学校との演奏での交流は?
- ⑥ 少人数ならではの練習法の工夫を教えてください!
- ⑦ 選曲はどのようにしている?

中学校



写真提供: 碧南市立東中学校

愛知県・碧南市立東中学校

- ① 22名
- ② 技術向上に対する競争心が生まれにくい→学年関係なくパート割りやソロを決めている。
- ③ 一つの目標に向かって全員が同じ気持ちを共有することができる。
- ④ 部活見学会の際に、派手な曲の演奏やスタンブレイをカッコよく決め、興味をもってもらえるようにしている。
- ⑤ 年に一度、市内5校の中学校で合同演奏を行っている。学区の小学校と合同練習を行なっている。
- ⑥ 一人ひとりの音楽レベルを高めるために、日によって基礎を仕切るリーダーを代えている。全員必ず前に立ち、それを経験させるようにしている。
- ⑦ パートの人数や目立たせたい奏者のソロがあるかどうか。小編成版が出てなければ編曲するようにしている。

静岡県立清水第八中学校

- ① 22名
- ② サウンドの厚みが少ない。1人の音量を多くさせる。
- ③ 移動が速い。手をかけられる(一人ひとりに)。
- ④ スプリングコンサートのポスターを小学校へ貼ってもらう。歓迎コンサート。
- ⑥ JA アグリフェスタでいくつかの学校と大人のバンドと一緒に演奏する。
- ⑦ 曲を選んで人数に合わせた楽譜を作成。

アンケート大公開

- ① 現在の吹奏楽部の部員数は？
- ② 人数が少なくて大変だと感じることは？それを解決するための工夫は？
- ③ 小編成ならではの利点は？
- ④ 新入生に入部を促すために工夫を教えてください！
- ⑤ 近隣学校との演奏での交流は？
- ⑥ 少人数ならではの練習法の工夫を教えてください！
- ⑦ 選曲はどのようにしている？



福井県・A公立中学校

- ① 30名
- ② 曲を派手にすること。でもあまり感じない。
- ③ 音が合いやすい。まとまりやすい。
- ④ 楽器体験をさせる。いまどきの曲を演奏する。
- ⑤ 合同バンド。
- ⑥ 木管、金管に分かれて練習。
- ⑦ 曲優先。

栃木県・B公立中学校

- ① 14名（一年生だけのバンドです）
- ② 教えてくれる先輩がいない。
- ③ 音を合わせやすい。
- ④ 小学校や地域のイベントに多く参加しています。
- ⑤ 同上。
- ⑥ 工夫というより全員で基礎合奏を毎日行なう。
- ⑦ 技量に合わせて。

静岡県・富士市立吉原第三中学校

- ① 19名
- ② ハーモニーの音が足りない。低音不足。1人の責任が大きく、力量が問われる。ある程度しかたないが、なるべく編曲する。
- ③ 指導が行き届く。個人の成長は早い(のかな?)。
- ④ 結果を出す。
- ⑤ 個人レッスンを増やす。
- ⑦ 小編成用の曲になりがち……。

島根県・松江市立玉湯中学校

- ① 15名
- ② 和音を組むのが大変です。他のパートをプラスしてやっています。
- ③ 生徒一人ひとりの力を把握しやすい。
- ⑥ 特にやっていません。学年50名足らずしかないのに部活数が6部あり、困っています。
- ⑦ 現代曲や邦人の作品はあまり好みではないので、アレンジ物が多いです。

沖縄県・公立C中学校

- ① 21名
- ② 音に迫力が無い。一人ひとりがかっちり吹かないといけない(代わりがない)→一人ひとりを育てないといけない。個人をしっかり見てあげる。
- ③ 行動しやすい。
- ④ 入学式で楽しそうに演奏する。
- ⑤ あります。本校は小(中)規模校のため、大規模校と合同練習して練習方法などを学ばせた。
- ⑦ 個人のレベル優先、編成を見て演奏できそうなら選曲します。



小編成で頑張っています！

吹奏楽部 アンケート大公開

愛知県・犬山市立東部中学校

- ① 25名
- ② パートが足りない。オーケストレーションがうすい。→**パートをうまくコンパートさせながら対応。**
- ③ 個々の技術を磨ける。室内楽的なアンサンブルサウンドを追求できる。
- ④ **ウェルカムカードの作成。**
- ⑤ 合同演奏会、合同練習の実施。
- ⑥ 個別指導の充実。セクション練習の充実。
- ⑦ ソロが強い楽器に寄せる。

大分県・公立E中学校

- ① 20名(10月からは15名)
- ② パートがなくて、音が抜けてしまうこと(和音など)。他の楽器で吹いたり重ねたりしている。厚みが出ない。
- ③ 音を合わせやすい。**一人ひとりに責任感が持てる。**そのことが技術の向上につながっている。
- ⑤ 市内合同演奏会。また、合同演奏会。
- ⑦ その年、特によく吹けるパートが生かせるような選曲。

石川県・公立D中学校

- ① 26名
- ② 個々のスキルがある程度、必要となってくる。
- ③ **一人ひとりの響きを大切に**できる。
- ④ 小学校での演奏。
- ⑤ 校区の文化祭、バザーなど。
- ⑦ 編成優先(Ob、Fgなど)。

愛知県・豊橋市立東陵中学校

- ① 24名
- ② 楽譜の音がそろわず、メロディがないことも→他の楽器へ書き換え
- ③ 一人ひとり丁寧な指導ができる
- ④ 学校の都合上、新歓活動は行なえない。**見学に来たときに楽しそうな雰囲気を見せる**ぐらいです。
- ⑤ 市の祭りの合同バンドへの参加。合同練習会(中学や高校)
- ⑥ 練習後のスピーチ(1ヶ月ぐらいで1周)。
- ⑦ 小編成にこだわらず、**演奏したいと思えるものを選ぶ。**アレンジのよいもの。

富山県・富山市立新庄中学校

- ① 43名(1、2年のみ)
- ② 活動量が不足することが一番大変です。訪問演奏をしたりすることで地域に貢献し、支援をしてもらう。
- ③ F.フェネル氏が提唱した**1パート1楽器で演奏できること。**
- ④ とにかく勧誘する。2人以上で来てもらう。
- ⑤ 富山第一高校さんと毎年合同演奏をする機会をもっています(近隣の小学校体育館で発表)。
- ⑦ 現在の人数で演奏できる曲のみを選んで



アンケート大公開

高校

- ① 現在の吹奏楽部の部員数は？
- ② 人数が少なくて大変だと感じることは？それを解決するための工夫は？
- ③ 小編成ならではの利点は？
- ④ 新入生に入部を促すために工夫を教えてください！
- ⑤ 近隣学校との演奏での交流は？
- ⑥ 少人数ならではの練習法の工夫を教えてください！
- ⑦ 選曲はどのようにしている？

北海道・釧路東高等学校吹奏楽部

- ① 11名
- ② 市販の楽譜でそのまま演奏したら穴があいたりバランスが悪い。コンクール曲の選曲に困る。常に小編成の新譜をチェックする。
- ③ アンサンブルしやすい、音が合いやすい。
- ④ 丁寧な部員勧誘、声掛け、楽しい空気を出す。
- ⑤ ハーモニーを徹底的に練習する。打楽器パートは自分を中心に演奏するパート譜以外の楽譜も見て、可能な部分はすべて演奏する。顧問の参加。
- ⑦ オリジナル曲は編成を優先するが、大編成の曲も工夫すれば成立する。



写真提供：北海道釧路東高等学校

北海道池田高等学校

- ① 21名
- ② レパートリーが限られること。
- ③ 部員一人ひとりが自立できる、アンサンブルの技術が向上できる。
- ④ 高校入試期間から計画を立てた。
- ⑤ 街の演奏会や定期演奏会などに参加。
- ⑥ 身体を動かしながら(ダンスして)吹いている。
- ⑦ 生徒優先に決めている。編成は考慮していない。

茨城県立八千代高等学校

- ① 11名
- ② 楽器の持ち替えが多い→編曲する、マルチパーカッション。
- ③ 一人ひとりを細かく指導できる。
- ④ 年度はじめにコンサートやお楽しみ会を開催。
- ⑤ 県の総文祭に合同で出演。
- ⑥ 個人レッスンを設ける。副楽器の練習時間をとる。
- ⑦ 編曲重視。

秋田県立西目高等学校

- ① 23名
- ② 選曲、編曲(自分でやります)。
- ③ 身軽さ、目の届きやすさ、すばやさ、一人ひとりが生かされること。
- ⑤ 吹奏楽祭(大いなる秋田の合同バンド)バンドフェスタ(各チームの出演)。
- ⑥ 一人ひとりにどうしても目が向き、工夫しなくても個人練習がしやすい。
- ⑦ 編成と生徒の力量を見定め、ポロの出ない音楽的魅力のある曲。

小編成で頑張っています！

吹奏楽部 アンケート大公開

福島県・私立B高等学校

- 1 25名
- 2 必要パートがそろわないこと。自身で編曲。
- 3 練習の様子ではなく、**本番の様子を見てもらう**ようにする。
- 4 個人レッスンの充実。
- 5 編成やソロ、中心となる楽器。

新潟県・公立A高等学校

- 1 29名
- 2 演奏できる曲が限られること。**サウンドや技術面など核となるパートを意識して作る。**
- 3 「吹奏楽」というジャンルに対するこだわりを持たなくてよいこと。
- 4 この点はまだ工夫不足。
- 5 2人なら2人、3人なら3人を徹底してそろえる(今はできていないが前任校はできた)。
- 6 核となるパートが映えるものを選んでる。

茨城県・公立F高等学校

- 1 21名
- 2 大編成にしかない壮大な曲がパートの人数の関係で難しい→編曲する。
- 3 一人ひとりの演奏をチェックすることができる。
- 4 新入生歓迎コンサートをしている。
- 5 県の**芸術祭や交歓演奏会**。
- 6 大人数指導との比較をしたことがないのでわからない。
- 7 生徒が演奏したい曲を中心に(コンクールは顧問が決める)。

栃木県立C高等学校

- 1 16名
- 2 曲をやってもパートが足らず、和音がそろわないことがある。→楽譜の書き換え。
- 3 一人ひとりを指導しやすい(個人レッスンができる)。団結力が高まる。
- 4 中庭コンサート、体験入部、あとはとにかく良い演奏をすることです。
- 5 ありませんが、近隣の小学校でコンサートを行なっています(年1回)。
- 6 パート練習が人数不足でできないので、ペア練習をします。**2人で基礎練を行ない、指摘し合います。**
- 7 編成(大編成のものはやりません)、曲として魅力的であるか。レベル。

秋田県立平成高等学校

- 1 36名
- 2 パートが足りないこと。持ち替えはしませんが、読み替えて他のパートに割り振ります。
- 3 合わせやすさ。細かいところに目が行き届きやすい。
- 4 チラシを作成して配布。あとは**日々の勧誘を一人ひとりが頑張ること**。
- 5 旧町内に小学校・中学校があるので、小学校には毎年学校祭にゲストで来てもらい、小中とは夏に町の音楽祭と一緒に演奏します。アンサンプルも人が少ないと中高で取り組んでいます。小学生で見たい子が高校で続けることも……！
- 6 特に変わったことはしていませんが、1対1練習などはしやすいように思います。
- 7 編成は気にしますが、どちらかというやりたい曲(物理的に)のバランスを考えて決めます。小編成でも色々できる良い譜面はあるので。



アンケート大公開

北海道・公立G高等学校

- ① 20名
- ② 選曲に苦労する。小編成版をさらにアレンジする。常に新しい曲を探す。
- ③ 生徒とのコミュニケーションがとりやすい。**一人ひとりに責任(演奏、係)を持たせやすい。**
- ④ 勧誘期間を設定し、色々な楽器を体験させる。
- ⑤ 持になし(教えてもらいたい)。
- ⑦ やりがい、やりたい曲→編成→難易度で考える。



北海道知内高等学校

- ① 26名
- ② 各パートが1人ずつになってしまうため、1人が欠けると曲が成立しなくなってしまう。練習でも欠けないよう、部員や顧問が声をかけ合う。
- ③ 各ステージにおける**主役や一人ひとりの係分担、曲中での責任感が増す。**
- ④ 中学校との合同練習や合同演奏会を通しての呼びかけ。
- ⑤ 本校と近隣中学校3校のジョイントコンサート(各校ステージや合同ステージ)を行ない、入学や入部を促す活動をしている。
- ⑥ 学校中一人ひとり部屋を割り当てての個人練習。
- ⑦ **今いるメンバーの良さが最大限に発揮される曲**(編成やメンバーが得意とする分野の曲)。

写真提供: 仙台城南高等学校

仙台城南高等学校

- ① 17名
- ② 楽器運搬…(工夫) **教えて細かい役割分担をしない。** 臨機応変/音色の変化…持ち替え楽器を増やす。打楽器アンサンブルの効果的な活用/予算規模が小さい…教頭や事務長と常に相談。
- ③ **風通しが良く仲が良い。喧嘩をしても仲直りが早い。派閥を形成しにくい。毎日、全部員に声を掛けられる。** 準備や片付けなどを必要以上に煽らなくてよい。
- ④ 予備登校での演奏。経験者は**春の演奏会への招待をハガキ**です。劇的な工夫ってないですね。今の子どもは、「寄らば大樹の陰」的な生徒が多いので、経験者でも小編成とわかると、役割や仕事の負担を感じて敬遠されることもある。
- ⑤ 仲のよい顧問同士の学校で春に**ジョイントコンサート**を開いています。お互いの刺激になってよい。
- ⑥ ハーモニー的な練習は楽譜を手直したとしても、1人欠席がでるだけで崩れるので、思い切って**ハーモニーの基礎合奏はしない。** 秋山先生の「10分間ウォームアップ」でユニゾン中心の基礎合奏をしています。天気の良い日は、金管生徒を車に乗せて、山奥にある大学のグラウンドに連れて行き、半日、ロングトーン練習。県外の学校への練習見学や合同練習にも生徒のローテーションを組んで、顧問の車1台で複数回行なうとほぼ全員が参加することができる(バスなんか借りなくても大丈夫)。
- ⑦ 邦人作曲家、邦人出版者…日本語で交渉できる。アンサンブル版と吹奏楽版の2種類がある曲をチェックしている。いざとなったら、交渉して許諾をとって自分のバンド用に編曲する。大編成向けの曲に取り組むと無理が出る。小編成でも演奏レベルは部員によってバラバラなので、上手な生徒でソロを繋いでいく場面を入れる。

小編成で頑張っています！

吹奏楽部 アンケート大公開

北海道D高等学校

- 15名(1、2年次のみ、3年生は引退)
- どのような曲でも書き換えが必要な場合がほとんど。
- 一人ひとりに目が届きやすい(1人に10分使っても、3時間で全員の奏法チェックができる)
- ひたすら声掛け→楽器体験→ホメる、これを生徒たちがやっています。
- 地域の中学校と練習+合同演奏など行なっています。
- 小さいバンドはフレキシブルで動けるので、**様々な楽器とローテーションで基礎練習を行ないます(オフシーズン)**。
- まず「やりたいもの」をやる。そして編成に応じて書き換えます。基本的に生徒が曲を立案します。



日本大学山形高等学校

- 25名
- 演奏会の準備や運搬(吹奏楽連盟の手伝いの等の)。
- 個人の様子が把握しやすい。
- 積極的な声掛け。
- 吹奏楽連盟や文化連盟等の演奏会には必ず参加している。
- 大編成を基本的に同じ練習方法ですが、**パート練習はパート割りではなく、ランダムにミックスしてブレンドの練習**。
- POPSは好きなものを選び、やりながら調整していく。吹奏楽曲は顧問が編曲。

栃木県立上三川高等学校

- 7名
- 人数が少なくても楽器はたくさん使うので、その準備、片付け。
- 学年関係なく仲が良い。迫力のある音は望めないが、**美しいサウンドを追求できる**。
- 新入生歓迎演奏会、**おかしパーティ**。
- 合同練習、音楽祭等出演。
- 楽器ごとのパート練習ではなく、常にセクション練習状態から進める。
- 生徒にやりたい曲を決めさせている。

北海道E高等学校

- 16名
- 演奏したい曲が大編成のものが多く、パートの調整や楽器の持ち替えが必要となることです。
- 個々人の希望を反映させやすいこと**です(意見を取り入れる、検討する、練習方法)。
- 地域からの演奏要請があれば、極力引き受け、人前での演奏機会の多さをやりがいとしてアピールします。
- あまりありません。
- メンバーが演奏したい曲を優先し、後は福祉施設などで演奏する場合は、お客様の年齢層や嗜好、オーダーを優先します。

本特集はWind-i vol.6を再構成したものです。アンケートの全文を読みたい方はWind-i vol.6をチェック！

こちらから
ご覧いただけます。

